

クイックスタートガイド



iNUKE NU4-6000

Ultra-Lightweight, High-Density, 6000-Watt 4-Channel Power Amplifier

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

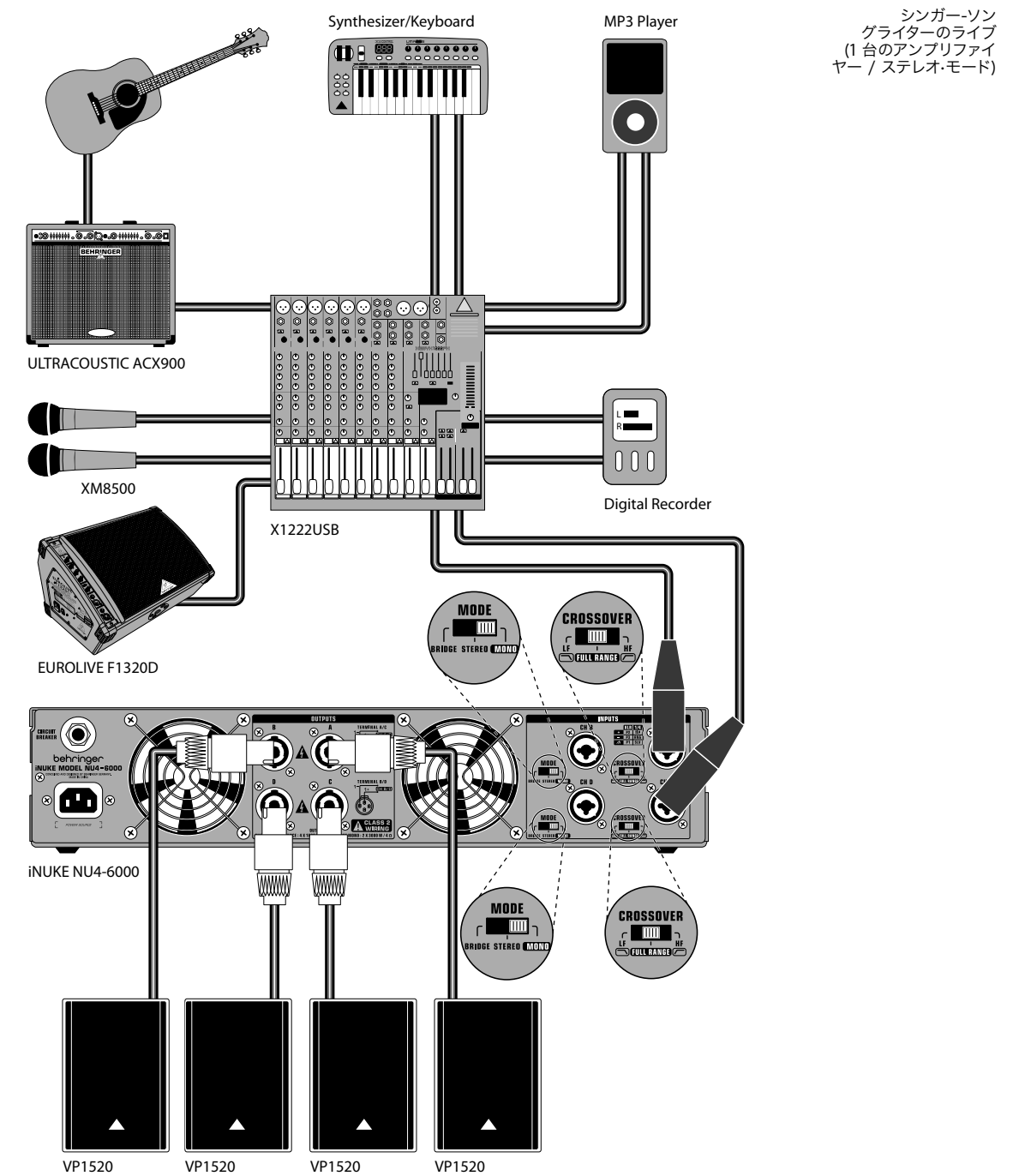
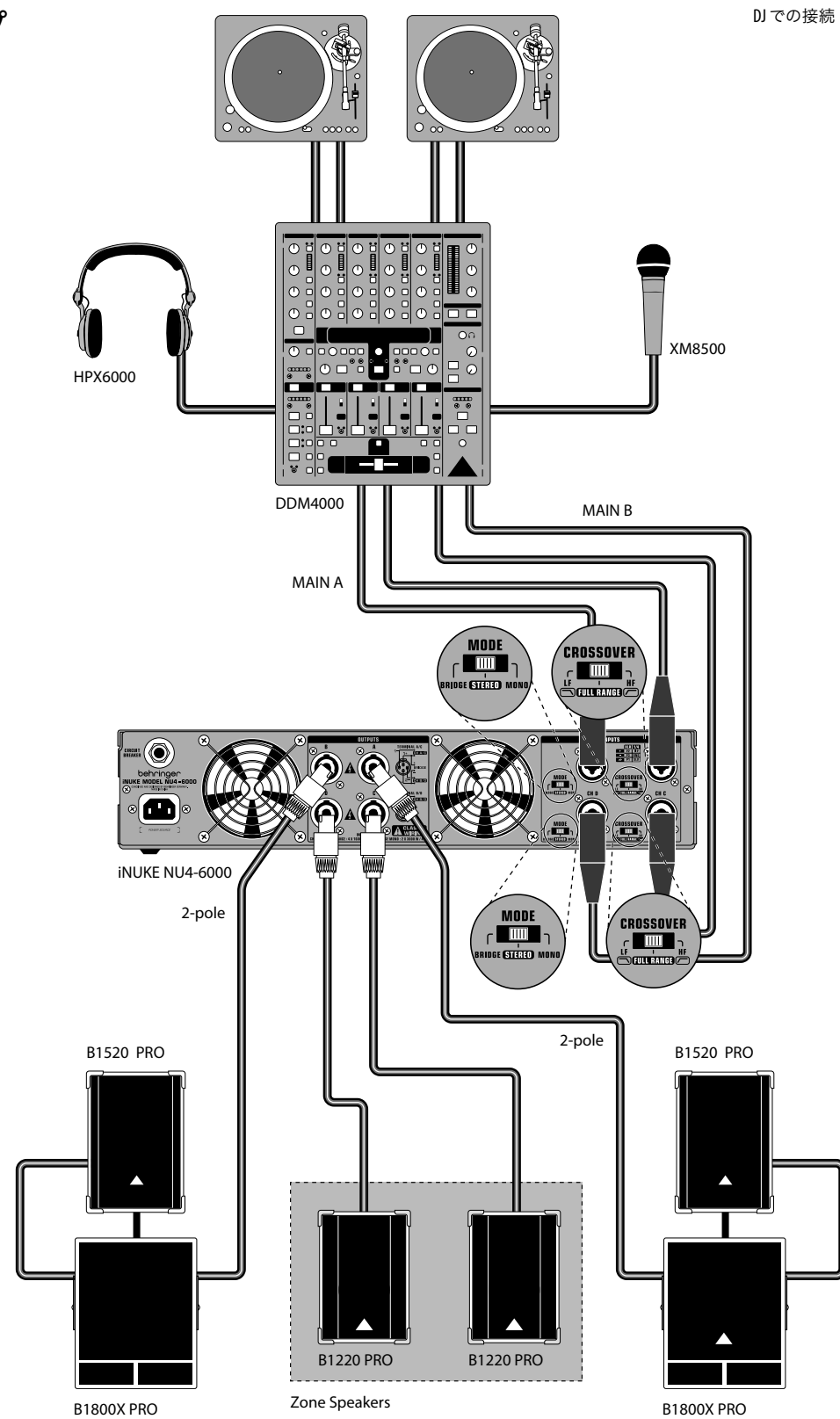
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB.GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC-HELICON、BEHRINGER、BUGERA、DDA および TC APPLIED TECHNOLOGIES は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2015 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

iNUKE NU4-6000 フックアップ

ステップ 1: フックアップ



シンガー-ソングライターのライブ
(1 台のアンプリファイヤー / ステレオ・モード)

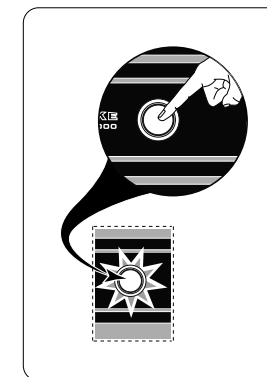
iNUKE NU4-6000 コントロール

ステップ 2: コントロール

SIGNAL および **LIMIT LED** は、それぞれのチャンネルの信号レベルを表示します。もし赤の **LIMIT LED** が頻繁に点灯するときは入力 **CH A/CH B** コントロールを下げてください。

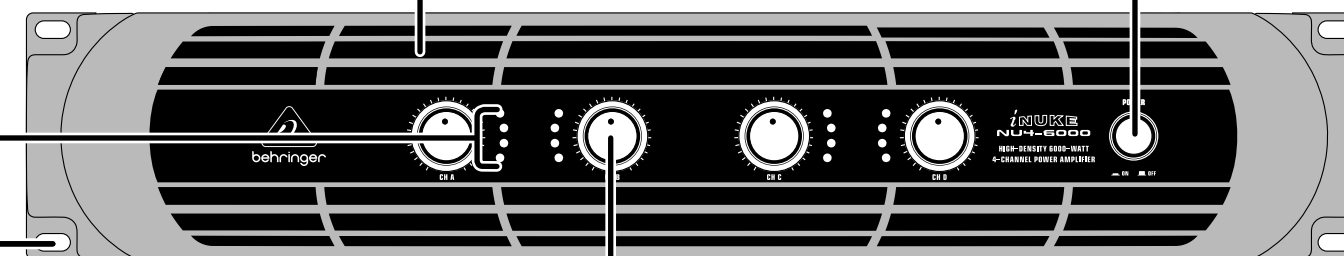
通気口開口部
“背面から前面への”
通気 設計により、
オーバー ヒートを
防止します。

POWER ボタン /
LED このボタンで
アンプリファイヤ
ーの電源をオン /
オフします。



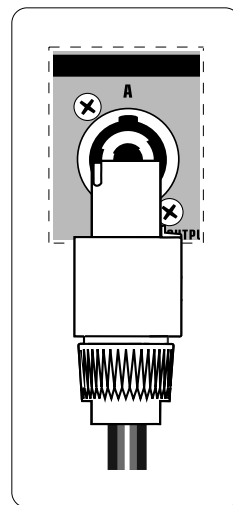
-4 本の付属ネジと
ワッシャを使って
本 体をラックに固
定します (ドライバ
ーは付属していま
せん)。2 ラック・ス
ペースを必要とし
ます。

CH A/CH B/CH C/CH D
コントロールこれら
のノブを使って入力
レベルを調節しま
す。ゲインを上げる
には時計方向に、
ゲインを下げるには
ノブを反時計方向
に回します。



iNUKE NU4-6000 コントロール

ステップ 2: コントロール



回転ロック式スピーカー出力回転ロック・プラグ付きのプロフェッショナル用スピーカーケーブルを使って、アンプリファイヤーをスピーカーに接続します。

BREAKER (自動安全装置)。問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び動作させることができます。従来のヒューズの代わりを果たすものです。

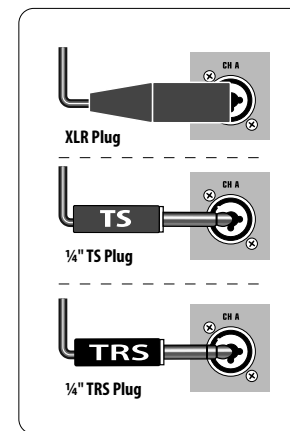
ブレーカーに関する警告: ブレーカーをリセットする時は、事前に以下の事をおこなってください:

- AC 電源ケーブルを外します。

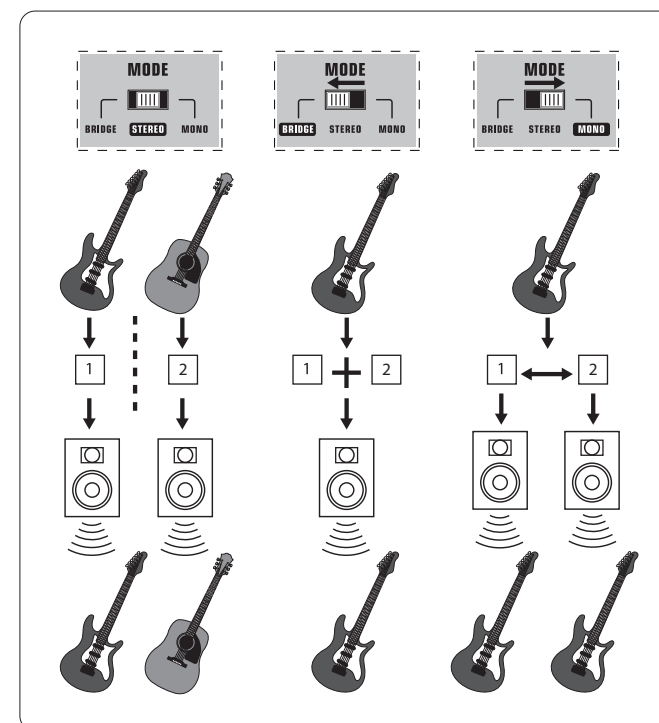
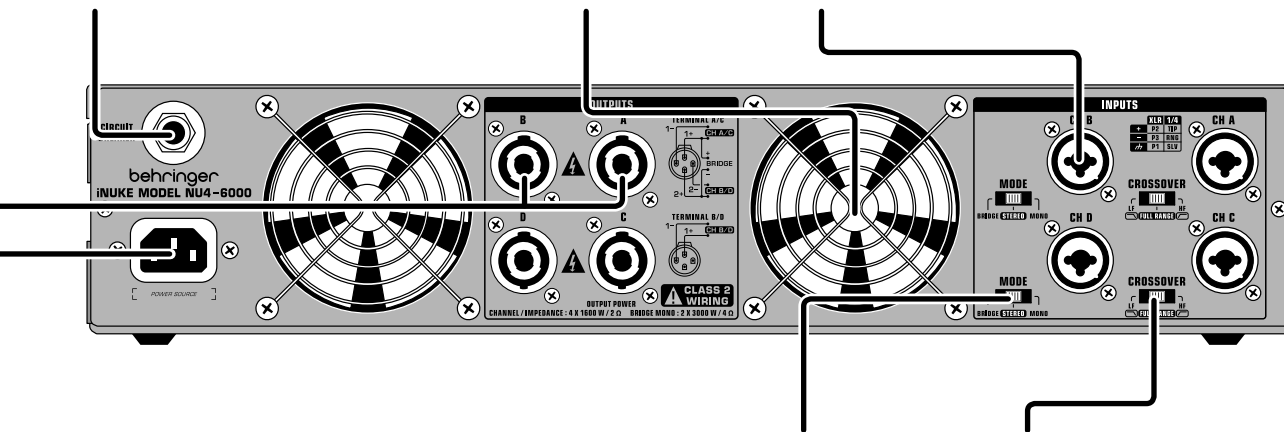
- 電源ボタンの位置を“OFF”にします。
- 入力ゲイン・コントロール類をすべて下げます。
- 上記の手順が完了したら、ブレーカーをリセットし、ユニットを電源コンセントに接続し、電源を入れ、任意のレベルまで徐々にゲインを上げてください。

通気用ファンファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。

XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ (バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ (アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。



電源の接続 対応する電源コード (同梱) を使ってこの IEC 電源コネクタに接続します。



MODE スイッチ (モノ / ステレオ / ブリッジ) MODE スイッチを MONO, STEREO と BRIDGE のいずれかの位置に合わせ、アンプリファイヤーのモードを選択します。

CROSSOVER (クロスオーバー) スイッチで 3 つのモード: フルレンジ (FULLRANGE)、LF (低周波クロスオーバー) および HF (高周波クロスオーバー) のいずれかを選択します。LF モードでは信号の低周波のみを増幅します。HF モードでは、高周波のみを増幅します。LF および HF モードは通常バイアンプ方式で使用します。

iNUKE NU4-6000 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1

アンプリファイヤーと音源の電源が OFF になっていることを確認します。
- 2

すべての CH A/CH B/CH C/CH D コントロールを 完全に反時計方向へいっぱいの位置に設定します。
- 3

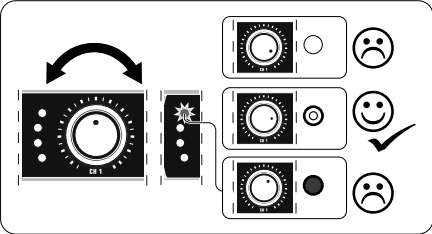
音源 (ミキサー、CD プレイヤー、コンピューター) の電源を入れます。
- 4

POWER ボタンを押し、アンプリファイヤーの電源を入れます。
- 5

音源の出力レベルを設定します。
- 6

CH A/CH B/CH C/CH D コントロールを調節し、入力レベルを設定します。
- 7

もし LIMIT LED が頻繁に点灯する場合は、CH A/CH B/CH C/CH D コントロールを LIMIT LED がまれにしか点灯しなくなるまで下げます。このレベル設定により、信号の強さとアンプのヘッドルームの間で最適なバランスを得ることができます。



iNUKE NU4-6000 Bi-amping

Step 4: Bi-amping

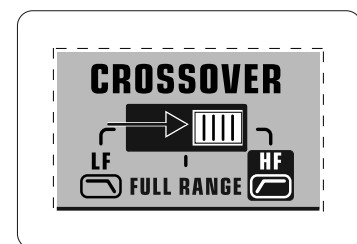
バイアンプ方式では、信号を高周波数帯と低周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別のスピーカー・キャビネットへと割り当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

以下の手順は、A/B または C/D チャンネルペアのバイアンプを設定します。

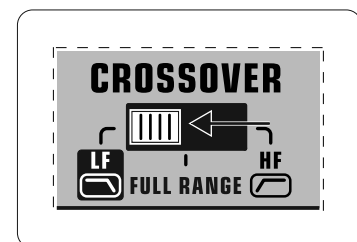
水平バイアンプ方式

水平バイアンプ方式では、NU4-6000 チャンネルのリンクしたペアの一方 (CH A / CH B) で中域および高域を処理し、もう一方のペア (CH C / CH D) で低域を扱います。

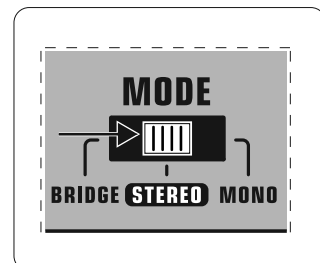
- 1 CH A / CH B クロスオーバー (CROSSOVER) スイッチを HF 設定側にスライドします。



- 2 CH C / CH D クロスオーバー (CROSSOVER) スイッチを LF 設定側にスライドします。

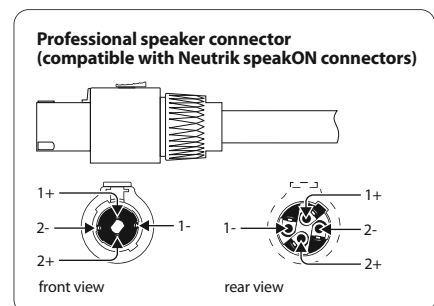


- 3 両モード (MODE) スイッチをステレオ (STEREO) モードにします。(ここでは、中 / 高域および低域信号をそれぞれ左チャンネルと右チャンネルに分割する、ステレオセットアップについて説明します)。



- 4 ツイストロック式コネクタ付き 4 極スピーカーケーブルを、CH A 出力からコネクタ・ディストリビューション・パネルへ接続します。アンプリファの A および B チャンネルの中 / 高域 (HF) 信号が、1 本のケーブルで一緒にルーティングされます。

- 5 4 極スピーカーケーブルをもう一本、CH C 出力からディストリビューション・パネルへ接続します。アンプリファの C および D チャンネルの低域 (LF) 信号が、1 本のケーブルで一緒にルーティングされます。



- 6 4 極ケーブルのアンプリファ HF (CH A / CH B) 出力を、左右のパネル出力に分割するよう、ディストリビューション・パネルを配線します。CH A 出力 (1+ / 1-) をディストリビューション・パネル左側出力の 1+ / 1- ピンにルーティングします。そして CH B 出力 (2+ / 2-) をディストリビューション・パネル右側出力の 1+ / 1- ピンにルーティングします。

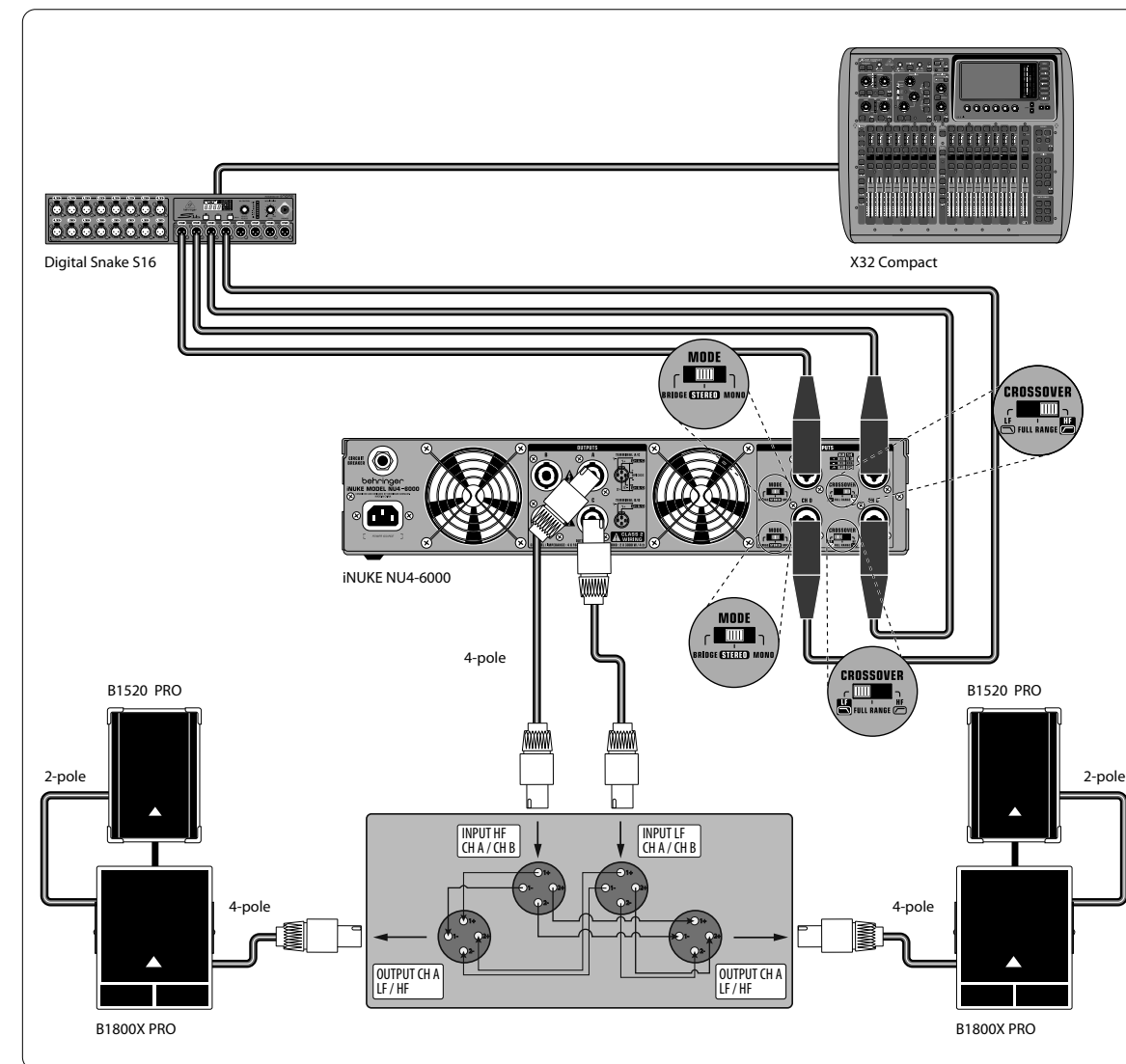
- 7 同時に、もう一方の 4 極ケーブルの、アンプリファ LF (CH C / CH D) 出力を、左右のパネル出力に分割します。CH C 出力 (1+ / 1-) を、ディストリビューション・パネル左側出力の 2+ / 2- ピンにルーティングします。そして CH D 出力 (2+ / 2-) をディストリビューション・パネル右側出力の 2+ / 2- ピンにルーティングします。

- 8 ディストリビューション・パネル出力からサブウーファーに 4 極ケーブルで接続します。各 4 極ケーブルの 1+ / 1- ピンに HF 信号が、2+ / 2- ピンに LF 信号が送信されます。

- 9 各サブウーファーを“BIAMPING” (バイアンプ) モードにします。2+ / 2- ピンの LF 信号がサブウーファーを駆動する一方、1+ / 1- ピンの HF 信号はサブウーファーを通過し、中 / 高域スピーカー用の出力ジャックへ送信されます。

- 10 2 極スピーカーケーブルを各サブウーファーの出力ジャックから、中 / 高域スピーカーへと接続します。1+ / 1- ピンの HF 信号によって中 / 高域スピーカーが駆動されます。

注意: お使いのサブウーファーが 1+ / 1- ピンのみに対応している場合、ディストリビューション・パネルを使用せず、サブウーファーを直接アンプリファの CH C および CH D 出力に接続できます。このような場合は、各ステレオ側に 2 極ケーブルを使用します。CH C および CH D は直接サブウーファーに接続し、CH A および CH B は直接、中 / 高域スピーカーに接続します。



水平バイアンプ方式

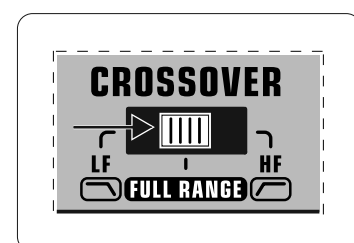
iNUKE NU4-6000 Bi-amping

Step 4: Bi-amping

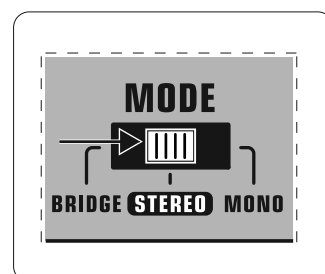
垂直バイアンプ方式

垂直バイアンプ方式では、各ステレオ側に、リンクした NU4-6000 チャンネルのペアを使用します。(例: CHA/CHB で左側を増幅し、CHC/CHD で右側を増幅します)。アンプリフィケーションの前段階で、外部クロスオーバーによって、オリジナルの左 / 右の信号を、中 / 高域と、低域信号に分割します。マッチペア内の各チャンネルで、中 / 高域と低域の信号を別々に増幅します。

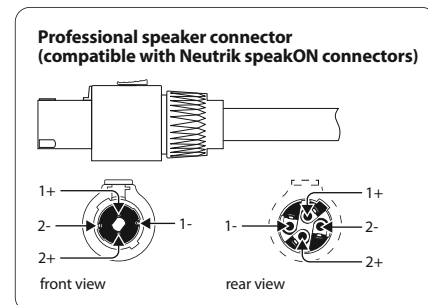
- 1 外部クロスオーバーで、低帯域および中 / 高帯域を 100 Hz 近辺で分割するよう設定してください。
- 2 クロスオーバーからの中 / 高域信号を、CHA および CHC 入力に接続します。
- 3 クロスオーバーからの低域信号を CHB および CHD 入力に接続します。
- 4 両クロスオーバー(CROSSOVER) スイッチの位置を フルレンジ (FULLRANGE) にします。



- 5 両 モード (MODE) スイッチの位置をステレオ (STEREO) にします。

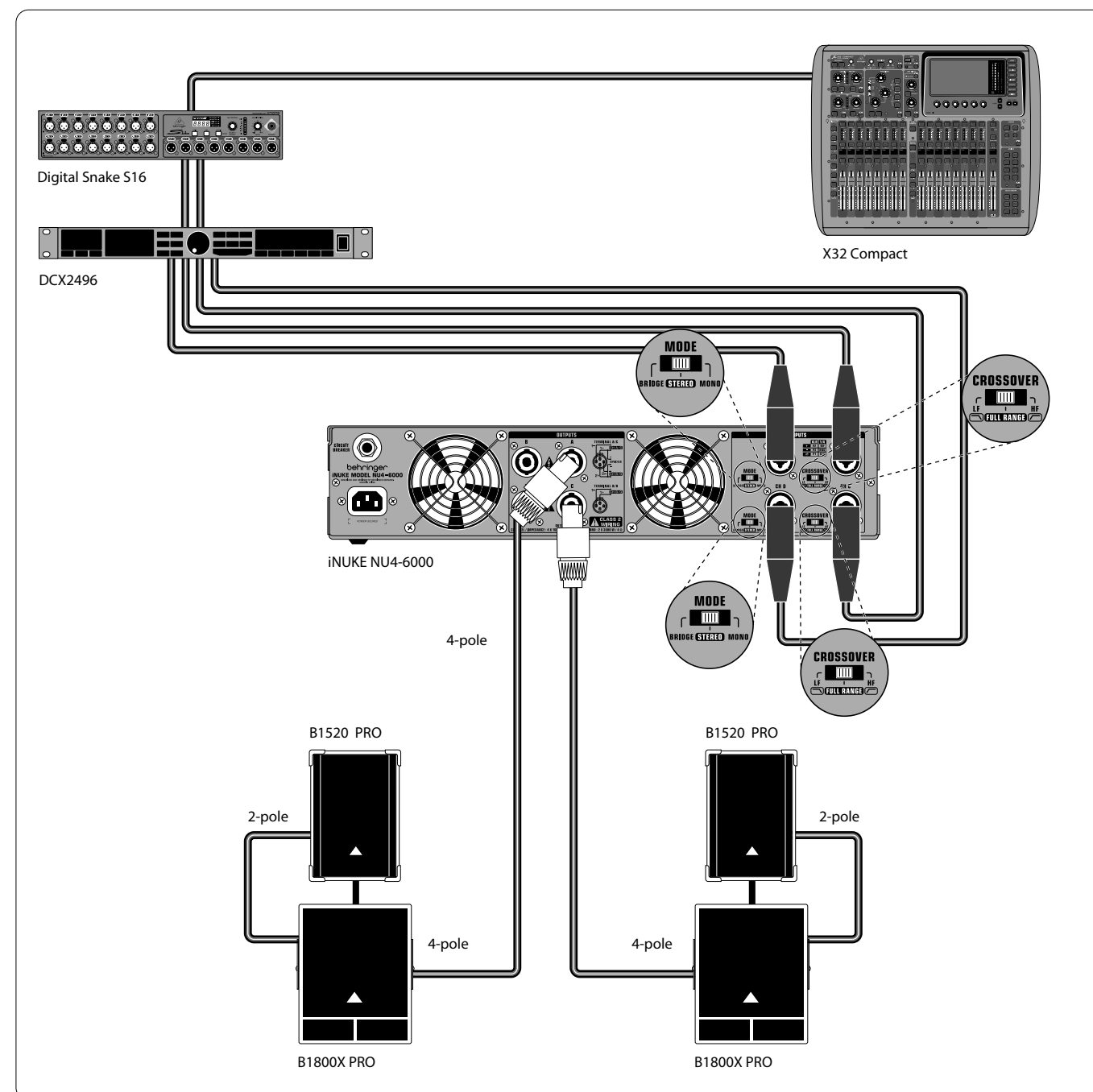


- 6 CHA および CHC 出力のツイストロックス式コネクタ付き 4 極スピーカーケーブルを、それぞれ左右のサブウーファーに接続します。各 4 極ケーブルは、中 / 高域信号を 1+/1- ピンに、低域信号を 2+/2- ピンに送信します。



- 7 各サブウーファーを“BIAMPING” (バイアンプ) モードにします。2+/2- ピンの低域信号がサブウーファーを駆動する一方、1+/1- ピンの中 / 高域信号はサブウーファーを通過して出力ジャックから中 / 高域スピーカーへと送信されます。

- 8 2 極スピーカーケーブルを各サブウーファーの出力ジャックから、中 / 高域スピーカーへ接続します。1+/1- ピンの中 / 高域信号が中 / 高域スピーカーを駆動します。



垂直バイアンプ方式

JP

技術仕様

Output Power	
Maximum Output Power	
4-channel	
2 Ω per channel	4 x 1600 W
4 Ω per channel	4 x 860 W
8 Ω per channel	4 x 440 W
Bridge connection	
4 Ω per bridged pair	2 x 3000 W
8 Ω per bridged pair	2 x 1600 W
System	
Controls	
Front	Power switch Gain controls (channels A, B, C, and D)
Rear	2 x Mode switch (bridge / stereo / mono) 2 x Crossover switch (LF / fullrange / HF) Circuit breaker
Indicators	
Power	Amber backlit illuminated gain controls
Limit (per channel)	0 dBFS
Signal (per channel)	-24, -12, -6 dBFS
Input Sensitivity	
For rated power into 4 Ω	0.775 V (0 dBu)
Connectors	
Inputs	4 x combo jacks
Input impedance	10 kΩ unbalanced, 20 kΩ balanced
Outputs	4 x locking-style speaker connectors
Output circuit type	Class-D
Distortion	<0.2%
Frequency response	20 Hz to 20 kHz, +0 / -2 dB
Signal-to-noise	>100 dB
Circuit Protection	
Cooling	Continuously variable speed fan Back-to-front air flow
Amplifier protection	Thermal and DC protection Stable into reactive or mismatched loads
Load protection	On/off muting, DC-fault power supply shutdown
Power Supply, Voltage (Breaker)	
USA / Canada / Japan	100-120 V~, 50/60 Hz, (25 A 250 VAC)
UK / Australia / Europe / Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz, (12 A 250 VAC)
Power consumption @ 2 Ω, 1/8 rated power	720 W
Power consumption @ 4 Ω, 1/8 rated power	400 W
Mains connector	Standard IEC receptacle
Dimensions / Weight	
Dimensions (H x W x D)	appr. 94 x 482 x 310 mm (3.5 x 19 x 12.2")
Weight	appr. 5.6 kg (12.4 lbs)

その他の重要な情報

JP

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You